

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護大島
所在地	(〒 940-2104) 長岡市大島町字谷内甲 1161 番地		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

当事業所では、『介護が必要になった場合でも地域を離れることなく、自宅で暮らし続けていける』ことを理念としてサービスを提供しており、以下のような特徴があります。1つめは、看護小規模多機能型居宅介護であるため、医療ニーズのある方を中心に受け入れをさせていただいています。2つめは、平均要介護度の高さです。当事業所のご利用者の平均要介護度は現在 3.2 であり、比較的中重度の方が多く看取りの方の受け入れもさせていただいています。そのため職員一人ひとりの高い専門性が求められ、日々研修や勉強会を通して研鑽を積んでおり、本来の理念である「中重度要介護者を在宅で支えられる仕組みづくり」の実践に取り組んでいます。3つめは、ご利用者の馴染みの暮らしを一番に考えている点です。元々馴染みがあって且つ、生活圏域から出ない範囲として、登録ご利用者のお住まいから約 2km 圏内で密着したサービスを行っております。事業所が近くにあることにより、ご利用者の急な状況変化やご家族の急な用事の際などに臨機応変にサービスを組み替えられ、柔軟な対応が可能です。ご利用者やご家族の生活を総合的にサポートするために、事業所だけで支えるのではなく、地域や医療・行政など関係機関と連携・調整を行い、地域包括ケアの視点に立って取り組んでいます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 11 月 11 日	従業者等自己評価 実施人数	(16) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2021 年 12 月 16 日	出席人数 (合計)	(6) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人)			

	<input type="checkbox"/> 利用者（__0人） <input type="checkbox"/> 利用者の家族（__0人） <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者（__1人） <input type="checkbox"/> その他（__人）
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		夜間は施錠忘れがないよう職員が交代のタイミングで一緒に確認をするようにしている。特別な防犯設備が整っているわけではないため、警察などからも助言をいただきながら防犯対策の強化を図りつつ、事業所内でも防犯に関する勉強会を実施したい。	緑町交番へ出向き「防犯ステッカーを貼ってみてはどうか？」とアドバイスを頂戴する。正面玄関に防犯カメラ作動中のステッカーを貼る。 また、特殊詐欺に関する情報提供を一人暮らしのご利用者へ行う。	防犯に関する勉強会のなかでダミーでも良いのでカメラを設置してみてはどうかという案も出ており、運営推進会議にて検討してみることにする。 →ダミーカメラの設置はある程度効果があるかもしれない。やってみても良いのでは。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	策定なし		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	介護職員のカンファレンス参加。	医療機関においては新型コロナウイルス感染症の影響により必要最低限の人数で開催する必要があり実現することができなかった。退院直後に一緒に同行訪問をするなどの工夫をし対応した。	ケアマネや看護師だけでは気付けないケアの視点での関わりに助けられたケースもあり、引き続き介護職員についてもカンファレンスへの参加を促し、参加が難しくても利用開始前あるいは退院直後など可能な限り同行訪問をするようにしていきたい。 →新型コロナウイルスの影響によりカンファレンスでの人数制限を必要としている状況ではあるが、介護職員のカンファ

				<p>レンス参加については非常に大切なところと考えている。医療機関においてはリハスタッフの参加率が高くなってきており、退院後の生活場面に合わせた情報提供がこれまで以上に行えるようにしている。介護職員の方々も常に最前線で支援を行っており、誰よりも利用者との距離が近く、とくに生活に関する多くの情報を抱えている。医療機関としても介護職員の積極的な関りを期待したい。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>	<p>関心の度合いは異なると思うが、自ら関わり情報発信できるよう会議へ参加できるように調整したい。</p>	<p>運営推進会議への参加が実現できなかった。</p>	<p>運営推進会議への参加は叶わなかったが、町内のクリーン作戦やオレンジカフェなどの行事に関わった。今後も地域活動などへ管理者・介護支援専門員以外の職員であっても参加できるよう意識して取り組んでいきたい。</p> <p>→4月~11月にかけてクリーン作戦や公園の除草作業に来てもらいありがたかった。引き続きお願いしたい。</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)</p>		<p>策定なし</p>		

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		R3.12.16 の運営推進会議より ・ダミーカメラの設置はある程度効果があるかもしれない。やってみても良いのでは。	防犯対策の一つとしてダミーカメラの設置を行う。また、独居高齢者や老々世帯の利用者へ向けた情報発信をし、防犯意識を高めていただけるよう働きかけていく。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	策定なし	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	項目 28 ・退院⇒在宅生活への円滑な移行のため、多職種による綿密な連携を引き続き行ってください。 ・看護小規模の強みを活かしていると思う。 ・感染症対策でカンファレンスの開催も限定されているとは思いますが、これからも積極的に参加していただきたいと思ます。	介護職員のカンファレンスへの参加。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	項目 38 ・日常的に地域住民や周辺施設等との協力関係が構築され、一体となって支援を行えている様子が見られることから、地域包括ケアシステムの推進に貢献されていると考えます。	管理者・介護支援専門員以外の職員が町内行事や運営推進会議に関りを持ち、地域包括ケアシステムを担う人材の一人として自覚できるよう機会を設けていく。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		策定なし	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「① 医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「② 在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤ 地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・①～④に関しては左記の状況から見るに、おおむね達成できているものと思います。 ・⑤に関しても、運営推進会議に参加する中で、地域住民や施設等との連携関係が構築されており、地域包括ケアシステムへ貢献されていると考えます。 ・ご利用者への満足度調査の結果を拝見し、小規模多機能として在宅生活を継続するための支援や機能維持など支援できていたと思う。関係機関として適切な連携が図れていたと思う。 ・生活の立て直しが必要なご利用者様、元の生活からどのようなサービスが必要か測りかねる利用者様について 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
						<p>包括支援センターや関係各所と情報共有をしながら柔軟に対応していただいている印象があります。</p> <p>→今後も医療ニーズが高い方でも在宅生活を継続することができるよう可能な限り支援を続け、地域医療、住民とのネットワーク強化に努めたい。</p>	
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				<p>・満足度調査を拝見し職員の方1人1人が利用者様に誠意のある適切な対応ができていると思う。</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「その人が築き上げてきた暮らしを支えます」というこぶし園の理念を意識した関わりが行えている。 ・1の取り組み状況からサービスの特性を活かした実践が行えているものと思われる。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	○				<ul style="list-style-type: none"> ・職員ごとに個別対応され、相談しながら個々の目標を設定されていることは、職員のスキルやモチベーションの向上に効果的だと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			<ul style="list-style-type: none"> ・今後もICTを活用した研修の機会が、従前と比べると比較的多くなると思われます。 数少ない機会を生かせるような体制（機器の整備等を含め）や計画を勘案いただきたいです。 →新型コロナウイルスの感染拡大を機に研修の在り方についても見直され、ICTを活用した実施方法がスタンダードになっていくものと思われる。インフラの整備と 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
						併せて、より積極的な参加ができるよう計画していきたい。	
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーな情報共有の機会が増えることで、質の高いケアに繋がると思いました。 ・記録、共有の仕方も今後多様化すると思いますが、効果的な方法を模索していただきたいです。 ・利用者や業務についてなど、事業所へ連絡した際に対象の職員が不在時でも、他の職員が「全くわからない」ことが少なく円滑に連絡調整ができているように感じています。情報共有の場が増えたことで良い結果に繋がっていると思います。 <p>→記録方法などより効率的かつ効果的な方法を他事業所、業者とも相談しながら検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						討を進めていきたい。	
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で挙がっていた意見等も、即時反映するよう、取り組まれている様子が見受けられました。 ・運営推進会議で話合われたことを迅速に対応してくださっている。 	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・委員の皆様からのご意見などをまとめた議事録を回覧し周知を図りながら、対応可能なものについてはすぐに実践している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	○				<p>・新型コロナウイルスの影響で、2年近く心身ともに閉塞的な日常が続いています。</p> <p>職員の生活リズムやメンタルヘルス等を守るよう、引き続き取り組んでいきたいです。</p> <p>・時間になるとアラームが鳴るのは良いことだと思う。職員同士が意識することで残業を減らすことができる良い方法であると思う。</p> <p>→感染対策が長く続くなかで生活環境、業務環境にも変化が生じ、これまで以上のストレスを感じている状況である。ストレスフルにならないよう心身の健康管理に努めていきたい。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				番号5同様	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者台帳への追記や申し送りノートへの記入、昼礼での報告と変更があったことは迅速に情報共有するよう心掛けている。 ・その日とくに重要とされる事柄に関しては忘れることのないように業務表に落とし込むこととした。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○				<p>・事故、ヒヤリハットに対する対策が念入りに検討され、同様の重大な事故等が防げていると思います。</p> <p>・個人情報に関しては、1度のミスで重大な影響を及ぼすため、引き続き厳格な管理をしてください。</p> <p>・具体的な事故対策があることでいざ当事者になったときに混乱することなく対応できて良いと思う。</p> <p>→事故を繰り返さない、類似した事故が発生しないよう改善策など迅速に情報共有し、相互に注意喚起を促せるよう意識して取り組んでいきたい。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	○				<p>・災害及び災害時の感染対策等の対策も検討・整備されており、有事において地域からも頼られる施設となっていると感じた。</p> <p>・緊急時の関係機関との間で具体的な対応方針が共有されていることで、包括(関係機関)としても焦ることなく対応できるため今後も共有願いたい。</p> <p>→災害については基準が見直される場合もあり、国や県、市からの情報収集、共有に努めるとともに、対策についても随時見直しをしていきたい。また、そうした備えを利用者だけでなく地域に対してもどのようなかたちで提供できそうなのかご意見をいただきながら検討していきたい。</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・災害時行動表に加え、新型コロナウイルス感染症に関する予防対策及び BCP 作成、発生を想定した実践的な学習会を行った。</p> <p>・今年度は新型コロナウイルス発生に備えた備蓄を追加。(アルコールについては消防法の関係から 80L を超えないよう他センターと調整)</p> <p>・法人及びこぶし園全体で災害時安否確認システムの配信、報告訓練を定期的実施している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の普段の過ごし方（普段よく行く店や場所等）を事業所がよく把握されていると感じました。 ・イレギュラーな事案が発生しても対応できるよう、積極的な情報の収集を継続してください。 ・看護小規模の強みが活かされていると思う。 <p>→とくに一人暮らしの方などご本人からの情報だけでなく、地域の方々からの情報が頼りとなる。地域の皆様とのコミュニケーションを大切にしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりで きて い な い	全く でき て い な い		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○				番号5同様	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用者・家族の意向や情報等を聴取・分析し、意向等に沿ったケアの提供に努めてください。 →本人、家族の変化していく意向をしっかり汲み取れるように日々の関りを大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりで きて い な い	全く でき て い な い		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の有する能力を活かしつつ、その方らしい暮らし方ができるような取組みを、今後も継続していただきたいです。 ・利用者の今までの生活、変えられない習慣などに寄り添って柔軟なプランニングができているように感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・随時の各計画書の確認と併せて昼礼等の職員間の情報共有による、利用者の状況変化等に“より”適応した計画の作成に期待したいです。 →引き続き介護、看護との情報共有、立案に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりで きて い な い	全く でき て い な い		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○					✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		・リアルタイムでの情報が得られる為、早期に対応、反映するようにしている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	○					✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・家庭環境、就労状況の変化から一時的に偏ってしまう場合もあるが、生活状況を把握しつつ客観的な評価に基づいて必要なサービス調整を行っている。				・状態等に適したサービス提供となるよう、継続的な状況分析による、サービスの調整を引き続き行ってください。 ・看護小規模の強みが活かされていると思う。 →今後も本人、家族の心身の状況、生活環境、就労状況の変化に合わせた柔軟な調整を図っていく。	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	○				<p>・新型コロナウイルスの影響で、多職種による連携が困難な状況かと思われませんが、出来る範囲で積極的に取り組まれていると感じました。</p> <p>・看護小規模の強みが活かされていると思う。</p> <p>→サービスの強みを活かした効果的なサービス提供を継続するため、今後も介護・看護・介護支援専門員との連携強化を図っていきたい。</p>	<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○				<p>・サービスの特色でもある、介護・看護の連携の強みを活かした、効果的なサービス提供を継続いただきたいです。</p> <p>・看護小規模の強みが活かされていると思う。</p> <p>番号 18 同様。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりで きて い な い	全く でき て い な い		
							応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				番号 19 同様	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護、看護双方からの情報をもとに介護支援専門員が整理をし、今後の対応策について検討し、ケアに結び付けている。							
① 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○					✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・病気の進行や合併症予防の対策、進行に伴い起こり得る症状等に関して、観察点やケアの方法などを伝えてもらうことで、介護職員の安心感に繋がっている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<p>・説明が伝わりにくい項目や、介護支援専門員に対応いただくポイントの分析を試みることで、より分かりやすい説明ができるようになるかもしれません。</p> <p>→これまでどのような説明をしてきたのか、理解が得られにくいところほどのポイントだったのか、事業所内だけでなく、他事業所とも話し合う場面を設け、分析を試みたいと考えている。</p>	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・不安を感じている方に対してはその点がカバーできるよう、わかりやすく別紙に留意点をまとめたりとできる限りの工夫をし伝えている。</p>	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりで きて い な い	全く でき て い な い			
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<p>・利用者やご家族にとって、見慣れない機器類にはどうしても抵抗が生じることもあるかと思います。</p> <p>職員側がそれらの機器等による効果を理解することで、説明も円滑になると思われるので、まずは職員が自信をもって説明出来る知識を身に付ける取組みをしてはいかがでしょうか。</p> <p>・利用者に対して取り扱い方法の説明は難しいと思うが工夫しながら対応していただければと思う。</p> <p>→場合によってはメーカーや医療機関から説明を受けながら知識、技術の習得に向け取り組んでいきたい。</p>	<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・新しい医療機器がどんどん出てきており、取り扱いについてわからないこともあり、適宜メーカーの方や看護師から指導を受けながら対応しているが、それを利用者に対してもしっかりと理解を得ることは難しい場合もある。</p> <p>・本人だけでなく家族も高齢だったり理解度に不安がある方もおり、退院直後など看護師がすぐに訪問に伺ったり、状況によっては宿泊をご利用いただき家族指導をさせていただくこともある。</p>						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			<p>・重症化する以前の意向確認において、実践されていること（工夫されていること）はありますか？（包括、家族、地域住民 等からの情報収集など）</p> <p>→独居者の場合は以前の暮らしぶり、生活状況などについて包括職員や知人（昔の勤務先の関係者）などから情報提供をいただいたことはあった。ただ、介護が必要な状況になったらどこで暮らしたいのか、最期をどこで迎えたいのか、延命治療を望んでいるのかについては十分な情報とは言えない。</p>	<p>✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・本人を含めて話し合いを行うようにしているが意思表示できないケースが多く、今後は重症化する以前からの意向確認が課題である。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	○				<p>・元気なうちから考えていただくよう働きかけるにあたって、工夫されている点がありますか？</p> <p>・必要に応じ、医療機関など関連機関と本人の将来を予測するために必要な情報共有を行いながら今後の相談を進めていただきたいと思います。</p> <p>→なるべく意識していただけるよう定期的に口頭でお伝えはしてきた。現在『わたの望む暮らし』という意向を含めた5つの項目がまとめられた用紙を作成しており、本人・家族、サービス事業所、あるいは主治医と情報共有するためのツールとして活用したいと考えている。</p>	<p>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・話し合いの機会を持ち伝えることができても、元気なうちは具体的な返答が得られないことが多く、病状変化時になってより具体的な相談をすることが多い。元気なうちから考えてもらうことが重要である。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりで きて い な い	全く でき て い な い		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○				<ul style="list-style-type: none"> ・退院⇒在宅生活への円滑な移行のため、多職種による綿密な連携を引き続き行ってください。 ・看護小規模の強みを活かせていると思う。 ・感染症対策でカンファレンスの開催も限定されているとは思いますが、これからも積極的に参加していただきたいと思います。 <p>→今後も可能な限り介護職員のカンファレンス参加を実現させていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○			<p>・緊急時にスムーズに対応できるよう、時間帯や状況別の対応のフロー化などを検討してみたいかがでしょうか。</p> <p>→現在作成中の『わたしの望む暮らし』に落とし込めるようにしていく。</p>	<p>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</p> <p>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			<p>番号 29 同様</p>	<p>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態に即した、利用者別の情報シート・検索MAPが作成され、それらを地域の方の意見や協力を得ながら活用されており、大変よい取り組みだと思いました。 ・各利用者に合わせた検索MAPはとても良いと思う。普段関わりのない検索にあたる職員もMAPがあればスムーズに検索できる。 ・取り組みとしては地域密着の事業所である利点を生かしたとても良いものであると感じました。引き続き個人情報の取り扱いに注意しながら取り組んでいってほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・議事録は誰でも閲覧可能なように玄関フロアのテーブルに設置してある。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・演者や話題提供者として様々な機関に声をかけておられ活動が活発であると思えます。感染症対策との兼ね合いもありますがこれからも続けて行っていただきたいと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・地域サロンやオレンジカフェの開催などを通じて積極的に実施している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します 	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
						ていくが、法整備も含めそれに伴う報酬改定を期待したい。	
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		番号 35 同様 →35同様。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	○				<p>・日常的に地域住民や周辺施設等との協力関係が構築され、一体となって支援を行っている様子が見られることから、地域包括ケアシステムの推進に貢献されていると考えます。</p> <p>→今後も社会福祉法人として、企業方針に沿い地域福祉の増進に少しでも力になれるよう尽力していきたい。</p>	<p>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</p>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				<p>・特定の集合住宅等に限定していない。</p> <p>・半径 1.5～2.0km 圏内の方が利用されている。</p>	<p>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</p> <p>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○			<p>・新型コロナウイルスの影響で、地域交流に関してもやむを得ず閉塞的になってしまっていますが、感染状況等を踏まえ、できる範囲内での積極的な取組みに期待したいです。</p> <p>→限られた機会、時間をより効果的に活用できるよう地域との連携、ネットワークの強化を図っていきたい。</p>	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり でき て い な い	全く でき て い な い		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族に対し介護、看護とも在宅介護、療養に関する指導や助言を随時行っており、家族の介護力向上に向け取り組んでいる。 ・ 地域に向けてもオレンジカフェやサロンを実施し、地域の持つ介護力向上を目指し取り組んでいる。 					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスだけでは達成し得ない目標もあり、引き続き達成に向け本人・家族、地域支援者とともに連携しながら取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、地域支援者の強みを活かした取り組みによる、目標の達成に期待します。 <p>→これからも目標達成に向け関係機関と連携し、取り組みたい。</p>	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査の評価から医療支援が必要な方、また、その家族からも安心感が得られていると思われる。 		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・現在はそのような対象者はいないが、受け入れができる体制にあることを継続してお伝えしていく必要がある。早い段階から自宅での看取りも選択肢の一つとして考えていただけるよう情報提供していきたい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」